

NEWS

2019年度環境学習イベント②

AEL ネットスタンプラリー企画に協賛

「環境デーなごや2019 20th」報告



9月14日(土)午前10時～午後4時、20回目となる「環境デーなごや2019」が、エンゼル広場・エディオン久屋広場・光の広場にて開催されました。テーマは「つながる つくる なごやの未来」として、20年を振り返るとともに、なごやの未来を思い描き、一人ひとりが今行動すべきことを考える契機とするため、分野や主体、世代を越えて交流することで、環境について学び合える場をつくります。

協会事務局のブースはエンゼル広場に設置され、ワークショップの体験コーナーは、当協会の(株)コスモス・エコ研究所 浦田恵美子社長らが押し花を使用した葉づくり、昆虫の立体的なペーパークラフト、木の実や枝や葉っぱを使用した工作等を行いました。ワークショップには多くの親子連れが参加され、公園に落ちている枝や葉から季節感のあるオブジェが完成すると、作成したお子さんから満面の笑みがこぼれました。協会のブース前を通る方々も、展示パネルや「循環あいち」、「廃棄物関連記事切り抜きダイジェスト版」を見て、足を止め、産業廃棄物について質問をされる方もみえました。

今回から、作品を持って帰る時に渡していたビニール袋を、紙の袋に変更しました。また、これまで配布していたハンディティッシュも配ることをやめ、プラスチックごみの軽減に素早く対応いたしました。このような身近な取り組みから多くの市民の方に、愛産協の環境への配慮を伝えることができ、大きな成果を得られた事業となりました。

わたしたちのSDGs



私の環境への取り組みは、家のごみをきちんと分別して捨てるようにしていることです。雑紙などの分別が分からないときは、お母さんに聞いて正確に分別するようにします。他には家の電気をこまめに消して、電気を点灯したままにしないようにしています。

(写真右側小学生の意見)

私の環境への取り組みは、常にエコバッグを携帯していることです。ショッピングセンターで買い物をする時にエコバッグを持参する人は多いと思いますが、私はコンビニで買い物をする時もエコバッグを持参しています。極力レジ袋の使用を減らし、海洋汚染の原因となっている廃プラの減少に貢献したいと思っています。

(高校一年生)



(株)リバイブの社員さん



運営スタッフ(一部の方)



環境省中部地方環境事務所の皆さん



参加された(有)大原ガラスリサイクルさん



参加された中部有機リサイクル(株)さん



参加された中部リサイクル(株)さん